壱岐南校区自治協議会だより

みなみかぜ

第134号

＊発行者：
壱岐南校区自治協議会
＊発行責任者：
本　庄　敏　雄
〒819-0032
福岡市西区戸切2-18-20
(壱岐南公民館内) ☎811-0336
http://blog.zaq.ne.jp/ikiminami/

数字で見る壱岐南

ミニバスを利用しましょう

一日乗車人員目標＝100人以上
☆12月1日～30日の利用者数
合計利用者数＝2,691人
平均利用者数＝89.7人

新春のつどい開催

自治協議会は1月7日に木の葉モール橋本店内のアレッタ橋本店で「壱岐南校区新春のつどい」を開催しました。これには各自治会、諸団体、関係機関等から150人が参加し、例年にもましてにぎやかなつどいとなりました。

本庄敏雄・自治協議会会長はあいさつのなかで『地域ケア包括システム壱岐南準備室』が昨年秋に行ったアンケートにふれ「地域としても進行する高齢社会に対応できる取組を進める」と述べ、そのためにも「橋本駅循環ミニバスの本格運行を実現したい」と、意気込みを語りました。

仁田坂喬一・副会長の音頭で乾杯をした後、参加者はそれぞれのテーブルで懇親を深め、和やかな2時間を過ごしました。

(自治協議会)

今年の平安を祈って《戸切町自治会》

戸切町自治会では、平成29年1月9日の朝9時から戸切町公園で、青笹と青竹で組んだ櫓にしめ縄等を納めて焼く「ほうげんぎょう」を行いました。

1年の無病息災と厄払いを祈願するために行われ、「ほんげんぎょう」や「どんと焼き」「鬼火焚」等と色々な呼び名はありますが、同様の行事が各地で行われています。

昔は、戸切町を取り囲むように6か所に櫓を組んで行っていました。子どもたちは櫓を守るため、前日から櫓の中に泊り一夜を過ごしたそうです。

現在は、子ども会役員が準備したぜんざいを「ほうげんぎょう」の手伝いをした子どもたちや町内の方々に振舞い、子どもたちも楽しみにしている行事の一つです。

青竹が「ポン、ポン」と弾ける音と空高く昇る炎を、ぜひ一度見に来て下さい。

(通信員・有吉新作)

♱大満足！『大人のクリスマス』♱

壱岐南文化振興会は、12月16日に壱岐南公民館で「大人のクリスマス」を開き、参加者76人は温かく楽しいひとときをすごしました。

「大人のクリスマス」は昨年度まで男女共同参画推進会議が行っていましたが、同会の事業見直しにより今年度から文化振興会が主催することになりました。

今年はアコーデオンとギターのインスト（歌のない）デュオ「キネマチコル」の演奏で、第1部はアルゼンチンタンゴを中心に、第2部はクリスマスソングやアニメの主題歌など、おなじみの曲をたくさん聞かせてもらいました。

会場には公民館サークルの「楽しい手作りの会」や「まちごとガーデニング」のクリスマスをテーマにした作品もたくさん飾られ、ムードを大いに盛り上げました。

第1部は少し緊張して聞きましたが、休憩時間にサンドイッチとワインや紅茶などの飲み物をいただいたあとの第2部は、手拍子を取る人やリズムに乗る人もいてリラックスした雰囲気でした。

演奏の間のおしゃべりではアルゼンチンタンゴにまつわる話、アコーデオンの音色を変える120もあるボタンの話などをされ「へ～ぇ！」と驚くことがたくさんありました。

「キネマチコル」とはキネマ＝映画、チコル＝アイヌの言葉で里の意味で「映画の里」だそうです。

演奏が終わり、心豊かな2時間を過ごした皆さんは全員笑顔で帰られました。

文化振興会では年間を通して何かしらの「文化活動」を行っていきます。ご要望・ご意見をお寄せください。

(文化振興会)

●筑豊地区へ研修旅行●

野方福寿会は、12月16日に飯塚市・直方市への研修旅行を実施しました。

飯塚では旧伊藤伝右衛門邸を見学。威厳ある門構えを見て「さすが筑豊の炭鉱王」と感じました。敷地は2300坪、建物は300坪で、庭園は国の名勝に指定されています。

柳原白蓮が伝右衛門の妻として約10年を過ごしたゆかりの地でもあります。

見学を終えて「ホテル直方いこいの村」で懇親会を行い、親睦を図りました。特に、ホテルのアイデアでしょうか、あらかじめ曲に応じた衣装が用意され、それを着けてカラオケを歌うことになりました。

テレくさそうな人や堂々とした態度の人など様々でしたが、みんな歌手になった気分で歌っていました。これには拍手喝采で最高に盛り上がり、本当に有意義な研修旅行でした。(福寿会・村松秀一)

ミニバスを利用しよう

2015年12月から試行運行をはじめた「橋本駅循環ミニバス」は、現在2回目の延長を行っており、5月31日までの運行が決定しています。

今年1月4日から一部ルートが変更され、ダイヤ改正も行われています。

新しいルートは、野方南3区集会所から野方南台に抜ける道路です。

昨年12月に舗装工事が終わり、道幅も広くなり、カーブも少なくなったのでより快適に乗車できるようになったのではないでしょうか。

野方南台の方にとってはバス停が近くなり、利用しやすくなったことでしょう。

「橋本駅循環ミニバス」の本格運行は、高齢化が進むこの地域にとって欠かすことはできません。

目標達成まであと少しです。一人でも多くの方のミニバス利用をお願いします。

往還往来

まだ記憶に新しい福岡市博多駅前道路陥没事故。あれはすでに昨年11月8日のことになるが、博多駅前博多口交差点から祇園町西交差点にかけての大通りが、駅前2丁目交差点付近で幅27㍍、長さ30㍍、深さ15㍍にわたり陥没した▼発生が早朝5時15分だったため人にも車にも被害がなく、不幸中の幸いだった。が、実は現場の通りに面して筆者の勤務先が入居しているビルがあり、発生初日は事務所に入れなかった▼といっても仕事への影響はほとんどなく、むしろ突発事故に対する福岡市の見事な対応が強く印象に残った▼時あたかも、東京都が盛り土問題で世間を騒がせながら責任者が名乗り出ないなか、事故発生早々に市長は自身のFacebookで情報を詳らかにし、わずか1週間で現場道路を通行可能にした▼このことは現代版秀吉一夜城といえる快挙であり、災いを転じて信頼を勝ち得た福岡市が今後さらに発展するに違いない予感を抱かせる結末をもたらした。(宜)

これからの主な行事

○2月3日(金)
青少年育成会講演会
○2月6・13・20日(月)
ふれあい配食
○2月12日(日)
親善ニュースポーツ大会
○2月26日(日)
男女共同参画推進会議
「20周年記念のつどい」

あおぞら 社協ニュース No.128

新サロン誕生！ 野方南2区

野方南2区自治会は「サロンを開設しよう」と、平成28年4月から渡海義一・自治会長、有馬良幸・評議員を中心に校区社会福祉協議会と検討を重ねてきました。そして「みなみかぜ」133号でお知らせしたとおり、28年11月17日に「ふれあいサロンさわやか」が壱岐南校区の9番目のサロンとして誕生しました。

当日は、勧進原集会所にボランティアを含む30人近い方が参加され、盛大に開会式を行いました。（＝写真）

来賓として野方南2区自治会出身の池田良子市議会議員、西区社協から校区担当の縄田優美さん、校区社協の新里幸吉会長ほか、いきいきセンターや西区役所保健福祉センターも出席され、祝辞を頂きました。

渡海会長、サロン代表の江川さんのあいさつの後、さっそく「はっきり読み体操」を行い、茶話会になりました。

「ふれあいサロンさわやか」は「心身のリフレッシュと町内の皆さんとの融和」を目的に、毎月第1・第3木曜日に勧進原集会所で開かれます。

9番目のふれあいサロン「さわやか」

あなたも認知症サポーターに

社会福祉協議会は12月9日、公民館と共催で介護福祉講座＝認知症サポーター養成講座を開催しました。

特別養護老人ホーム「マナハウス」の小金丸誠・施設長を講師に招いての講座でした。

認知症についての講座はこれまでにも実施してきましたが、認知症サポーター養成講座は久しぶりの開催です。壱岐南小学校4年生も授業で学んでいます。講座を受けた方は、認知症サポーターとして認知症の人や家族を支援する証のオレンジリングがもらえます。

社協ではこれからもいろいろな場所での講座開設に協力していきます。皆さんもぜひご参加ください。オレンジリングを手にして、認知症の人たちを地域で支えていきましょう。

◎ふれあい弁当お届けします◎

11月に実施した第2回ふれあい弁当（チキンカツ他）は大変好評で、多くの方からお礼の言葉をいただきました。

第3回ふれあい弁当は左記の日程で実施します。

Aグループ＝2月6日（月）
野方団地・野方南1区
野方南2区・橋本町
藤ヶ丘

Bグループ＝2月13日（月）
野方南台・野方台団地
野方南3区・野方南4区
萩ヶ丘

Cグループ＝2月20日（月）
戸切町・壱岐団地南
橋本ニュータウン

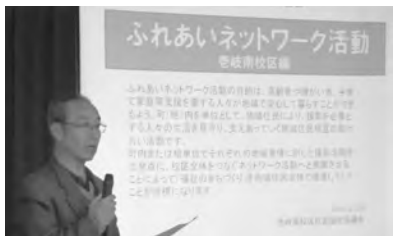
メニューはなんでしょう？
皆さんどうぞお楽しみに！

視察続々！（その2）

11月29日に佐賀市諸富地区「安心ネットワーク会」から23人の方が視察に来られ、壱岐南公民館で研修・意見交換会を行いました。

「安心ネットワーク会」は、佐賀市社協諸富支所を核として32の自治会で構成されています。もともと住民の結びつきの強い地域ではありますが、高齢化が進み、新たな地域課題も出てきました。2年前、市が75歳以上の高齢者を対象に実施したアンケート調査の結果に基づき、課題解決のために今年度からスタートしたそうです。

研修・意見交換会では、壱岐南校区社協の活動について、新里幸吉会長が説明をしました。（＝写真）そのなかで「安心情報キット」に関心が集まり、諸富でも導入することを検討することになりました。また地域包括支援センター（福岡市では愛称：いきいきセンター、佐賀ではおたっしゃ本舗）の活動がこれから重要になることを話して、連携を強化することも検討されることになりました。



壱岐南のとりくみを発表

諸富地区社協は佐賀市社協の支所で、公的な立場であるために自治会などの任意団体との連携にご苦労があるようです。地域活動は、行政との協力がなくては難しい面が多々あります。高齢者対策は、高齢化の実態に行政が追いついていけない実態があるため、今すぐ必要なことを地域が見つけて対応することが重要になってきます。

9月・10月・11月と3回の視察を受け入れましたが、私たちももっと学んでさらに住みよい壱岐南にしていきたいと思っています。

1月26日には、「地域包括ケアシステム壱岐南準備室」による、地域包括ケアの先進地区である長崎県佐々町への視察が行われます。

校区社協としてもしっかり研修してきて、次号で報告を掲載します。

一人暮らしになっても困らない！「男の料理教室」参加者募集

腕に覚えがあるなしに関係なく料理の基本から丁寧に教えます。「男の料理教室」ですが女性の参加も大歓迎。

みんなでわいわい語り合いながら、料理教室で人とのつながりをつくろう！

◎日時　原則偶数月の第4月曜日午前中
◎会場　壱岐南公民館
◎会費　1000円
申込は公民館まで

◉事務局ボランティアを募集しています

社会福祉協議会では、地域の福祉活動に興味のある方を募集しています。

ぜひご連絡ください。

【連絡先】　新里
☎〇八〇―二七〇九―〇八三七

●あなたも賛助会員に！●

社会福祉協議会では、高齢者も若者も、子どもも障がいをもっている人も、みんな快適に暮らせる「あたたかいまち」を住民の皆さんとつくっていきたいと考えています。
活動資金の一助となる「賛助会員」を募集しています。
会費は一口 1,000円です。
会費のうち50%は校区社協の、残りの50%は西区社協の福祉事業費として活用します。
趣旨に賛同される方は、公民館窓口に申し込んでください。

西区社会福祉協議会 賛助会員加入のお礼

（平成28年11月1日～12月31日）

（敬称略・受付順）

法人
野方南1区自治会

個人
徳島　進・徳島　洋子
三船　潤子

ありがとうございました。

＋ありがとうございました＋

地元有志より、福祉活動にお役立てくださいと、ご寄付を頂きました。

お預かりいたしました浄財は、校区社会福祉協議会の活動費として大切に使わせていただきます。

子どものひろば

クリスマス会

橋本子ども会とくすくす（おばあちゃんたちのサークル）といっしょにクリスマス会をしました。ケーキを作ったり、ゲームをしたり、プレゼントをもらったりしました。みんなでクリスマスの歌をうたって楽しかったです。また、来年も楽しみにしています。

橋本子ども会　川井田彩

◎「百人一首を楽しむ会」へどうぞ◎

いきみなみ文化振興会では「百人一首を楽しむ会」を行います。これまで男女共同参画推進会議が行っていましたが、今年度から文化振興会が主催することになりました。

「百人一首」というと、なんだか難しそう…と敬遠される方もいらっしゃいますが「普通のかるた取り」の要領で行いますのでぜひ一度参加してみてください。

○日時　3月12日（日）
受付　午後1時
開会　午後1時30分
○会場　壱岐南公民館講堂
○参加費
おとな　300円
小・中学生100円
○ぜんざいを用意します。
参加賞・優秀賞もあります。

◆いきみなみ俳句◆

白魚の目の黒きまま呑まれけり
スリッパを替えて厠の二月かな

（橋本ニュータウン　福田萬三）

編集後記

今年は暮れから年明けにかけて、温かい日が続きました。読者の皆さまにはお変わりなく新年を迎えられたことと思います。

さて「みなみかぜ」も2003年3月発行から15年目を迎えようとしています。

皆さまの役に立つ情報を提供し地域づくりをすすめる広報紙、を目指して発行してきましたが、いかがでしょうか？

今年の干支は丁酉（ていゆうまたはひのととり）で、「すくすくと成長して収穫を迎えるうれしい年」だそうです。（異説もありますがそこは目をつぶって）小紙もそのような年になるようさらに努力していきます。